

# J-STAGE 記事登載時の 入力データのチェック強化について

2016年3月23日

2016年6月30日改訂

知識基盤情報部



科学技術振興機構

# 記事登載時の入力データのチェック強化の目的

JSTは、J-STAGE の論文情報が国内外からアクセスされることを目的として、ジャパンリンクセンター(JaLC)を介して永続的アクセスを確保する DOI の登録を行い、PubMed、CrossRef 等の海外の主要な 外部サービスへ DOI とメタデータを提供するシステムを運用しております。

この一連のシステムにおける、J-STAGEへのデータ登載、DOI登録、外部サービスとの連携というデータの流れがよりスムーズに実施されるためには、データ品質の向上が必須です。

そのため、国内外の外部サービスにエラーなくデータが流れるように、J-STAGE のデータ登載時の入力チェックを厳密に行い、発行機関様が J-STAGE のデータ登載時点で誤入りに気付けるように機能を強化いたします。

# リリース概要

## ■リリース日

2015年11月29日 リリース済み（対象コンテンツの拡大・Web登載機能追加について）を参照願います。

2016年 4月23日 一部先行リリース済み

2016年 7月 9日 全体リリース

## ■リリース概要 → p.4 - p.9

※ 記事登載時の入力データのチェックを強化し、データの精度を向上させます。

### 1. 外部サービスとのデータ連携制御のチェック

外部サービスにデータを連携させる制御を強化します。（※ 4月23日リリース済み）

### 2. DOI関連のチェック強化

不正なDOIの登録を防止するため、DOI生成時のチェックを強化します。（※注1）

### 3. 記事登載時の入力データのチェック強化

入力必須項目のスペースのみのエラーチェックを強化します。（※注1）

ORCID入力時のチェック機能を追加し不整合データの登録を防止します。

### 4. その他データチェック強化以外の改修

使用可能タグの追加

引用リンク情報の削除機能（新規機能）

（※注1） 2015年11月29日リリース版の機能適用範囲の拡大

# 入力データのチェック強化

## 記事登載時の入力データのチェック強化

「J-STAGE データ品質向上へのご協力をお願い」(2015年8月5日掲載)に基づき、機能を追加しました。  
( [https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S560\\_ja.html#150805](https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S560_ja.html#150805) )

J-STAGEの論文情報が国内外からアクセスされることを目的として、外部連携先サービスにエラーなくデータが流れるように、記事登載時の入力チェックを強化します。  
また、データ入力時点で誤入力に気づけるようにしました。

### ◆ 入力チェック強化項目

- 1) 外部サービスとのデータ連携制御のチェック
- 2) DOI関連のチェック強化
- 3) 記事登載時の入力データのチェック強化
- 4) その他データチェック強化以外の改修

7月9日リリース

※一部 4月23日リリース済み

※ 一部機能は 2015年11月29日 にWeb登載機能にあわせて先行リリースしております。

**(注) 入力データのチェック強化は、既存データの訂正処理にも適応します。**  
過去に登録されたデータを訂正される場合にも、不整合データと判定する場合がありますので、適切な内容に修正していただくようお願いいたします。

# 入力データのチェック強化

## 1) JaLCシステムへのデータ連携制御

4月23日リリース済み

- ◆ J-STAGEで登録されたデータをJaLCシステムを介して国内外の外部サービスに連携させる制御は、記事データの入力項目である「JaLC連携(注1)」の選択でコントロールしています。

No	JaLC連携	連携内容	記事のDOI	入力チェック内容
A	「する」を選択	記事をJaLCシステムに送り外部サービスに連携する	必須(注2)	◇DOIが登録されていること ・DOI組立てルールによる「自動生成」または「手入力」 ※DOI組立てルールが無いと自動生成できません
B	「しない」を選択(注3)	記事はJaLCシステムに送りません	不要	◇DOIが登録されていないこと ・DOIを「自動生成」しない ・「手入力」されているとエラー

(注1) 既存入力項目の「JaLCデポジット」を「JaLC連携」に名称変更します

(注2) JaLCシステムにデータを連携させる場合は「記事のDOI」が必要です

(注3) すでに連携させている記事は「JaLC連携:しない」には変更はできません

※ JaLCシステムにデータを連携させない場合は

- 1) J-STAGEシステム内にのみデータを登録する
- 2) DOIを生成しないようにチェックをする (記事のDOIは登録できません)

# 入力データのチェック強化

## 2) DOI関連のチェック強化

7月9日リリース

No.	項目名	入力チェック内容
1	DOI組み立てルールに従った入力項目チェック	DOIを組み立てるために、DOI組み立てルールに含まれる書誌項目が入力されているかをチェックします。 ※ 論文番号、巻、号、開始ページ
2	DOIの有効文字種の扱い	DOI組み立てルールに指定した項目に以下の文字が含まれている場合は、 <b>自動的に変換</b> してDOIを生成します。 JaLCの使用可能文字種に合わせます。 ※ 「+」(プラス)→「_」(アンダースコア) 「,」(カンマ)→「_」(アンダースコア) DOI手動入力時の使用可能文字種 → <b>半角英数字、半角記号7種 ( ) - . / ; _</b>
3	DOIの重複チェック	重複したDOIが登録されないようにチェックします。 ※ DOIの「大文字、小文字」は区別しません。(ABC = abc) ※ <b>XMLファイルを使用した”記事一括アップロード”を使用した際、警告になっているものをエラーとして登録できないようにします。</b>
4	プレフィックスのチェック	入力されたDOIのプレフィックスが、ジャーナルに登録されているプレフィックスと一致しない場合は入力ミスとしてエラーにします。
5	早期公開と本公開のDOIのチェック	早期公開と本公開でのDOIの不一致は入力ミスとしてエラーにします。

4月23日リリース済み

# 入力データのチェック強化

## 3) 記事登載時の入力データのチェック強化

7月9日リリース

No.	項目名	入力チェック内容
1	入力項目のスペースエラー	<ul style="list-style-type: none"><li>・入力必須項目のスペースだけの入力はエラーとなりますので、必要項目を登録してください。</li><li>・任意項目についてのスペースだけの入力は全角、半角共にデータ生成時にスペース削除処理を行い不要なデータは発生させないようにします。</li></ul>
2	著者情報のORCIDのデータ形式をチェック	<ul style="list-style-type: none"><li>・ORCID入力時にチェックデジットによるデータ形式チェック機能を追加し、不整合データの登録を防止します。</li></ul>

## 4) 引用文献のリンク情報の制御機能

7月9日リリース

意図していない引用文献情報がリンクされる事象を回避させるための機能をリリースします。

No.	項目名	入力チェック内容
1	引用文献にリンクを付けない設定を追加	<ul style="list-style-type: none"><li>・引用文献登録・編集画面の [ 引用文献区分(必須) ] にリンク対象外コンテンツ (unlinkable) を指定することにより引用文献にリンクを付けないようにします。</li></ul>
2	引用リンク情報の削除機能追加	<ul style="list-style-type: none"><li>・記事管理画面で記事の引用リンク付与状況を表示し誤リンクを削除できる新規画面を作成します。 (引用文献一覧とリンク削除ボタン)</li><li>・履歴を作成することなく、引用リンク情報を削除できるようにします。</li></ul>

詳細は10ページへ

# 入力データのチェック強化

## 5) その他データチェック強化以外の改修

7月9日リリース

No.	項目名	入力チェック内容
1	使用可能タグの追加 <b>詳細は12ページへ</b>	XML登載、Web登載における抄録入力欄において、使用可能なタグを増加します。 <追加で使用可能とするタグ> ・pタグ      ・imgタグ



# 入力データのチェック強化

NO	機能説明 適応範囲	記事作成・ 編集 (基本書誌 情報)	記事作成・ 編集 (Web登 載)	記事アップ ロード (XML)	記事アップ ロード (BIB1.4) (BIB2.1) (SGML)	個別対応	備考
1	JaLCシステムへの データ連携制御	●	●	●	●	資料初期設定	●: 4月23日リリース済み
2-1	DOI組み立てルールに従った 入力項目チェック	○	◎	○	○		◎: 11月リリース済み
2-2	DOIの有効文字種の扱い	●	◎	●	●		◎: 11月リリース済み ●: 4月23日リリース済み
2-3	DOIの重複チェック		◎	○	—		◎: 11月リリース済み
2-4	プレフィックスのチェック	○	○	○	○		
2-5	早期公開と本公開のDOIチェック	○	○	○	○		
3-1	入力項目のスペースエラー	○	○	○	○	著者登録・編集 所属機関登録・編集 購読機関登録・編集 購読機関一括アップロード	
3-2	著者情報のORCIDのデータ形式 をチェック		○	○		著者登録・編集	
4-1	引用文献にリンクを付けない設定					引用文献登録・編集	
4-2	引用リンク情報削除機能					引用リンク削除	<b>新規機能</b> 詳細は10ページへ
5-1	使用可能タグの追加	○	○	○		記事ダウンロード	詳細は12ページへ

# 【詳細】引用リンク削除機能①

## XML登載 > 記事管理画面

テスト ジャーナル1

科学技術振興機構  
Japan Science and Technology Agency

利用サービス J-STAGE XML登載サービス

氏名 JST 開発担当

ロール 学協会管理者

ログイン日時 2016年06月15日 13時53分

トップ 巻号作成・管理 記事作成・管理 記事一括アップロード 記事リンク設定

トップ > 資料一覧 > 記事管理

(注) 早期公開記事を本公開する場合は、必ず早期公開記事にある「本公開記事作成」か、記事アップロードの本公開記事アップロードから行ってください。

すべて公開 すべて閉じる

Vol.1 No.1

すべて(14) 未公開(6) 公開予定(0) 公開済み(6) 訂正未公開(0) 検索(0)

すべて選択

1-14 of 14 1 表示件数 20

公開中	Article アークティクル	公開日	2016年05月19日	セクション内ソート
<input type="checkbox"/>		公開日	2015年10月26日	セクション内ソート
<input type="checkbox"/>	title test タイトル テスト taro kagaku 科学 太郎	公開日	2015年11月10日 公開済み	早期公開日

ページ: 1 - 10  
論文番号: A001

記事訂正

引用文献 (引用リンク削除: 問合わせ)

### 【引用リンク削除】

引用文献 (引用リンク削除: 問合わせ)

“引用文献”プレビューの横に  
“(引用リンク削除・問合わせ)”  
のリンクを追加し、新規画面である  
「引用リンク削除」画面へ遷移します。

「引用リンク削除」画面は  
未公開記事  
公開済み記事  
訂正未公開記事  
のいずれの記事に対しても使用可能です。

# 【詳細】引用リンク削除機能②

## 引用リンク削除画面

トップ 巻号作成・管理 記事作成・管理 記事一括アップロード 記事リンク設定

トップ > 資料一覧 > 記事管理 > 引用リンク削除

<引用リンク削除>  
誤った引用リンクを削除します。

<引用リンク問合わせ>  
引用文献のリンクが存在するか問合わせをし、存在する場合リンクを付与します。  
※引用リンクはJaLC(Japan Link Center)およびCrossrefへ問合わせを行い、プログラム処理によりリンクを付与します。そのため、リンクは必ず付与されるものではありません。

<引用リンク削除>、<引用リンク問合わせ>によるリンク変更では、公開画面の訂正履歴は残りません。

title test  
タイトル テスト  
taro kagaku  
科学 太郎

ページ:1-10  
論文番号:A001

**最新の状態に更新**

引用リンク問合わせの結果はすぐに反映されません(最大で数分)。  
しばらく時間を置いてから「最新の状態に更新」ボタンを押して、引用リンクが付与されたかを確認してください。

No.	引用文献の原文	引用リンク削除	引用リンク問合わせ
1	1) 科学技術振興機構知識基盤情報部. 科学技術情報発信・流通総合システムについて. 2012, 10.	削除	問合わせ
2	2) 科学太郎,科学花子. J-STAGE新システムが加速する国内学術論文誌の電子化と流通. JSTジャーナル. 2012, vol.55, no. 2, p.106-114	削除	問合わせ
3	3) 科学太郎. J-STAGEの引用文献情報について. JSTジャーナル. 2016, vol. 1, no. 1, p. 10-14	削除	問合わせ

記事管理へ戻る

【最新の状態に更新】  
画面を最新の状態  
で再表示します。

【引用リンク削除】  
引用リンクを削除し  
ます。

【引用リンク問合わせ】  
引用リンクを付与す  
る問合わせを行います。

【引用文献の原文】  
引用リンクが付与されている場合、リンクが有効になります。  
有効となったリンクから実際のリンク先に遷移します。  
この画面から公開前記事の引用リンク先を確認することも可能です。

# 【詳細】抄録の <p>タグ使用について①

## XMLアップロードファイルの抄録 (abstract)

XMLアップロードファイルの抄録 (abstract) で設定した <p>タグ によって、公開画面の抄録表示欄内で改行されるようになります。

### XMLファイルの 抄録 (abstract)

```
<abstract xml:lang="ja">  
<p>科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、運用開始から13年が経過し、海外の有力電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中心にその陳腐化が否めない状況であった。JSTではユーザビリティの向上、国際発信力のさらなる強化を目的として、新システム「J-STAGE3」を開発する。</p>  
<p>また新システムJ-STAGE3の機能と方向性、国内学協会誌の電子化促進における役割について触れる。</p>  
</abstract>
```

### 公開画面

抄録

引用文献(13)

科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、運用開始から13年が経過し、海外の有力電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中心にその陳腐化が否めない状況であった。JSTではユーザビリティの向上、国際発信力のさらなる強化を目的として、新システム「J-STAGE3」を開発する。  
また新システムJ-STAGE3の機能と方向性、国内学協会誌の電子化促進における役割について触れる。

FREE PDF 本文PDF [2712K]

改行

注意) <p>タグをネスト(<p>タグで囲っている範囲内に更に<p>タグを記載)することは不可とします。

```
<p>抄録テスト  
<p>あああああ</p>  
いいいいいい</p>
```

アップロードエラー

改行の後に空白行が表示される場合は「F5」キー(または「Ctrl」+「F5」キー)を押下してください。

# 【詳細】抄録の <p>タグ使用について②

## XML登載、Web登載の抄録欄

XML登載、Web登載の抄録欄で<p>タグを使用可能とします。  
<p>タグで区切られた位置で公開画面上では改行されます。

### 抄録欄の入力内容

<p>科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、運用開始から13年が経過し、海外の有力電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中心にその陳腐化が否めない状況であった。JSTではユーザビリティの向上、国際発信力のさらなる強化を目的として、新システム「J-STAGE3」を開発する。</p>  
<p>また新システムJ-STAGE3の機能と方向性、国内学協会誌の電子化促進における役割について触れる。</p>

### 公開画面

抄録 参考文献(13)

科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、運用開始から13年が経過し、海外の有力電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中心にその陳腐化が否めない状況であった。JSTではユーザビリティの向上、国際発信力のさらなる強化を目的として、新システム「J-STAGE3」を開発する。  
また新システムJ-STAGE3の機能と方向性、国内学協会誌の電子化促進における役割について触れる。

FREE PDF 本文PDF [2712K]

改行

注意) 今まで改行するために使用していた<br>タグも引き続き使用できます。

### 抄録欄の入力内容

<p>抄録テスト</p>  
あああああ<br>  
いいいいい

### 公開画面

抄録テスト  
あああああ  
いいいいい

改行の後に空白行が表示される場合は「F5」キー(または「Ctrl」+「F5」キー)を押下してください。

# 【詳細】抄録の<img>タグ使用について①

## XML登載、Web登載の抄録欄

XML登載、Web登載の抄録欄で文中画像を設定するための<img>タグを使用可能とします。

### 抄録欄の入力内容

<p>科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、運用開始から13年が経過し、海外の有力電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中心にその陳腐化が否めない状況であった。JSTではユーザビリティの向上、国際発信力のさらなる強化を目的として、新システム「J-STAGE3」を開発する。</p>

<p>また新システムJ-STAGE3の機能と方向性、国内学協会誌の電子化促進における役割について触れる。</p>

J-STAGEロゴ画像<br>




### 公開画面

抄録

引用文献(13)

科学技術振興機構(JST)が運用する電子ジャーナルサイト「J-STAGE」は、運用開始から13年が経過し、海外の有力電子ジャーナルサイト等と比較すると、ユーザーインターフェースや機能面を中心にその陳腐化が否めない状況であった。JSTではユーザビリティの向上、国際発信力のさらなる強化を目的として、新システム「J-STAGE3」を開発する。  
また新システムJ-STAGE3の機能と方向性、国内学協会誌の電子化促進における役割について触れる。

J-STAGEロゴ画像



FREE PDF 本文PDF [2712K]

文中画像

# 【詳細】抄録の<img>タグ使用について②

## <img>タグ使用方法

XML登載、Web登載の抄録欄で文中画像を設定するための<img>タグの使用方法

### 1.画像ファイルのアップロード

XML登載の「記事作成・編集(ファイルアップロード)」画面で画像ファイルをアップロードする。  
画像ファイルをアップロードする際の設定内容は以下の通り。

- ①アップロード時の「**ファイル種別**」は「**図表**」とする。
- ②画像ファイルの形式は **JPG形式**、**GIF形式**、**PNG形式**とする。
- ③アップロードする画像ファイル名は「**abst-{任意の文字}.拡張子(.jpg, .gif, .png)**」とする。(例:abst-sample1.gif)

#### 画像ファイルアップロード例)

ファイル種別: 図表  
画像ファイル形式: GIF形式  
ファイル名: abst-sample1.gif

巻: Vol.13号: No.1

基本書誌情報 著者・所属機関 キーワード 引用文献 **ファイルアップロード** 公開データ訂正履歴

アップロードするファイルを選択してください。 [\(入力例はこちら\)](#)

ファイル種別(必須) 本文PDF ファイル名(必須) ファイルを選択 選択されていません

アップロード

No.	ファイル種別	ファイル名	ファイル差替	項目	詳細	編集	削除	
1	本文PDF	13_10.pdf		タイトル	英語		-	
					日本語			
				説明	英語			
				日本語				
2	全文テキスト	13_10.txt		タイトル	英語		-	
					日本語			
				説明	英語			
				日本語				
3	図表	abst-sample1.gif		タイトル	英語	J-STAGE logo		
					日本語	J-STAGE ロゴ		
				説明	英語			
				日本語				

# 【詳細】抄録の<img>タグ使用について③

## <img>タグ使用方法

### 2.抄録欄の<img>タグの記述方法

抄録欄内に下記形式で<imgタグ>を記述する。

******

(例: )